

# ＝ 普 及 情 報 ＝

No. 2

平成29年12月21日

隠岐支庁農林局農政・普及部

標 題 (有) おき精肉店が企業参入により肥育部門を開始

(ダイジェスト)

隠岐の島町内で精肉直営店を2店舗、また隠岐の島町内、松江市、東出雲町、東京の4店舗で焼肉店を営んでいる「(有)おき精肉店」が、企業参入により肥育部門を開始しました。

隠岐家畜市場から約6～9カ月齢の子牛を導入し、隠岐の島町内の自社牛舎で肥育まで飼養管理し、出荷した牛は全て自社の経営する精肉店・焼肉店で販売する予定です。

(有)おき精肉店は、昭和30年に隠岐の島町で創業して以来、隠岐産牛にこだわった精肉専門店です。長年に渡って、隠岐の黒毛和牛の美味しさを皆に伝えてきました。

今までは、自社で肉用牛の飼養管理をしていなかったため、隠岐地域の肥育農家が生産した牛を販売していましたが、今年度、県単事業である「企業等の農業参入支援事業」と町単事業の「隠岐の島町農業活性化対策支援事業」を活用し、牛舎と機械を整備しました。また、国庫事業「特定有人国境離島地域社会維持推進交付金雇用機会拡充事業」を活用し、肥育部門で新たに2名雇用、11月の隠岐家畜市場で3頭素牛を導入し、肥育経営を開始しました。

代表は「肉用牛を生産から販売まで一貫して行うことは長年の夢でしたが、やっと実現できました。今はまだ小規模ですが、今後規模拡大して、島内また島外の方々に隠岐地域の美味しいお肉を食べてもらいたいです。」と意気込みを語られました。

約28カ月齢で出荷するため、初出荷は1年以上先となります。農政・普及部としては飼養管理技術の確立、隠岐産牛の更なるPRを支援していく予定です。



11月市場で導入した子牛



牛舎 (12頭飼養管理する予定)